

研究不正行為に関する処分を踏まえて

当時のセンター長として、研究の不正を事前に発見し、不適切な論文の発表を防ぐことができなかった責任を重く受け止めております。懲戒を厳粛に受け止め、今後、研究者コミュニティの一員として、正しい科学研究の発展のために、より一層の努力を払って参る所存です。

平成27年2月10日

多細胞システム形成研究センター特別顧問

竹市雅俊